

みんぱく映画会

# みんぱくワールドシネマ

映像に描かれる<包摶と自律>

—国境と民族を越えて—



## タレンタイム

第8回上映会

1月22

日[土] 13:30~16:20(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料

定員 450名

入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。整理券をご提示いただくと、言語展示が新しくなった本館展示を無料でご覧いただけます。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
TEL. 06-6878-8210 (平日9時~17時) <http://www.minpaku.ac.jp/>

### Talentime

2008年／マレーシア映画／英語・中国語・マレー語・タミール語／120分／日本語字幕つき  
監督／ヤスミン・アフマド

出演／マヘシュ・ジュガル・キショー パメラ・チョン・ヴェン・ティーン

司会 陳 天璽 (国立民族学博物館・先端人類科学研究部准教授)

解説 信田敏宏 (国立民族学博物館・研究戦略センター准教授)

戸加里康子 (マレー語通訳、元NHK国際放送局マレー語放送ディレクター)



国立民族学博物館



# みんぱくワールドシネマ

## 映像に描かれる<包摶と自律>

—国境と民族を越えて—

国立民族博物館では、2009年秋から開始した機関研究<包摶と自律の人間学>のテーマにあわせて、研究者による解説付きの上映会「みんぱくワールドシネマ」を始めました。第2期にあたる2010年からは、さらに<国境と民族>をキーワードにして、映画上映を展開しています。今回は、言語コーナーの新展示にあわせて、多民族多言語国家マレーシアの民族融和への道を示唆するマレーシア映画を上映します。民族、言語、宗教などの違いを超えて、友愛でお互いの理解を育む若者たちを通して、<民族>の存在や、多言語社会について、皆さんと考えたいと思います。

### 第8回上映会

2011年1月22日(土) 13:30~16:20(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料

定員 450名

入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。整理券をご提示いただくと、言語展示が新しくなった本館展示を無料でご覧いただけます。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

### タレンタイム

Talentime

2008年／マレーシア映画／英語・中国語・マレー語・タミール語／120分／日本語字幕つき

監督／ヤスミン・アフマド

出演／マヘシュ・ジュガル・キシュー バメラ・チョン・ヴェン・ティーン

司会・解説 陳 天璽 (国立民族学博物館・先端人類科学研究部准教授)

解説 信田敏宏 (国立民族学博物館・研究戦略センター准教授)

戸加里康子 (マレー語通訳、元NHK国際放送局マレー語放送ディレクター)

### 多民族国家マレーシアの民族融和への道

本作品の舞台であるマレーシアには、多数派のマレー人の他に、華人やインド人、さらに先住民など、それぞれ宗教や言語、そして文化を異にする多くの民族が暮らしている。ただし、マレー人や先住民を優遇するブミブトラ政策下にあるマレーシアは、ブミブトラでない華人やインド人にとって必ずしも暮らしやすい国ではない。本作品では、こうした複雑な背景をもつ人びとの人間模様も描かれている。また、一つの映画作品の中に、英語、マレー語、中国語（標準語の他に、広東語、福建語など）、タミール語などが飛び交う多言語状況は、マレーシアの多民族性を示しているが、それは同時にこの国における民族間の相互理解や異文化交流の難しさを象徴している。ヤスミン監督は、これまでいくつかの作品の中で、マレーシア最大の課題である「民族融和」を描いてきたが、本作品でもそのための道筋を示唆している。（信田敏宏）

### 映画解説

マレーシア映画の新時代を担いながら、09年7月に51歳で急逝したヤスミン・アフマド監督の、最後の珠玉作。多様な背景をもつ生徒が通う高校で催されるオーディション“タレンタイム”。インド系の聾哑の青年と恋におちるマレー系の少女、笑顔の影で余命少ない母を看取るマレー系の孝行息子、厳格な父に抑圧された中国系の優等生ら参加者は、それぞれに葛藤を抱えつつ、胸に秘めた大切な想いを音楽に託し、熱いステージを繰り広げる。種々の言語が日常で響き合うマレーシアで、宗教や人種などの越え難い壁と苦闘する人々を、搖るがぬ家族愛や信仰に根差した寛容の心とユーモアで、温かく包み込むヤスミン監督の作品は、映画史の中で、かけがえのない光を放ち続けているだろう。（服部香穂里）



2010年3月から  
言語展示場が新しくなりました。



音スタンプを組み合わせて、  
繰り返しことばをつくってみよう。

### 「包摶と自律の人間学—国境と民族を越えて—」

国立民族学博物館 陳 天璽

地球人口が68億人である今日、生地を離れ他国に暮らす移民は2億人に上り、全人口の約30人に1人あたります。国境は、人の頻繁な越境や情報化により、その存在が薄まっているように思えます。民族間の交流や国際結婚も増え、人を民族や国籍別に区別することも難しくなっています。しかし、現代社会は国家や民族、宗教によって人を分類するきらいがあるのも事実です。それゆえ、はざまにおかれ苦悩を抱えながら生きている人は少なくありません。人の違いを認めて包摶し、移民や無国籍者など社会的マイノリティーが自分らしさを生かして自律できる社会を実現するには、どうすればよいのでしょうか。映画に描かれる一人一人の生き様を通して、国家とは、国籍とは、民族とはなにかについて考え、国境を越えた人と人のつながり、支援のありかたを模索します。

### 交通のご案内

\*国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

#### ●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

\*映画会のみ参加される方は、自然文化園を通じられる場合、入園料が必要となります。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

\*「公園東口駅」からは自然文化園を通じせずに来館できます。

#### ●バス

(近鉄バス) (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

(阪急バス) (万博記念公園駅經由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

#### ●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

#### ●自動車

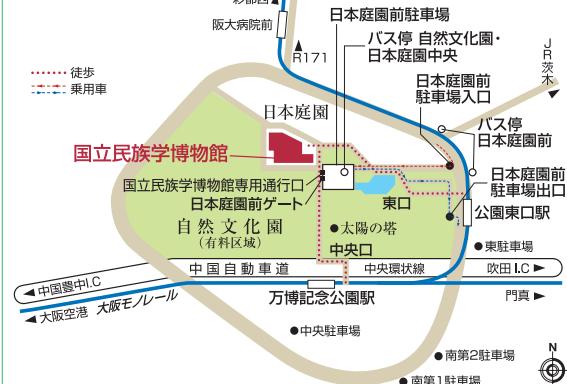
駐車施設が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

\*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある

国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



### お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室企画連携係

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

TEL. 06-6878-8210(平日9時~17時)

<http://www.minpaku.ac.jp/>



### 第9回上映会 2月26日(土)予定

## あなたなしでは生きていけない

2009年／台湾

レオン・ダイ監督作品



<http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies.html>



国立民族学博物館